広報 いずみざき

村づくり五原則

一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう。
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

昭和64年1月1日　（第258号）　編集・泉崎村役場総務課　印刷・野木印刷所

育て、すこやかに!!
21世紀の主役たち

（泉崎保育所の子どもたちと村長）

昭和64年1月号

〈村のうごき〉

	人口	人口	合計	世帯数
（今月12月1日現在）	男 3,084人（＋2）	女 3,162人（＋6）	6,246人（＋8）	1,389戸（＋4）
（前月11月1日現在）	男 3,082人	女 3,156人	6,238人	1,385戸

迎春

年頭にあたり村民のみなさまに
新年のごあいさつを申上げます。

泉崎村長　海上博久

年頭所感

はじめに

新しい太陽が地球に新しい光りを送りこの泉崎村にも新春がやって参りました。すがすがしい昭和六十四年の初陽がわれらの郷土泉崎を照しはじめました。

終戦の苦痛の中から立上って四十四年この太陽の下で国の繁栄と泉崎の繁栄をかみしめることができるのは以って感激であり感動であります。

手をとり合って「やろうみんなで」と心の中に誓いをもって村づくりに力を寄せ合っている結晶が今の泉崎村の躍進をつくっているのであります。

昨昭和六十三年は足音の高い出発を約し合ったスタートでありましたが痛くつらい収穫の秋を迎えなければならなかった農家の皆様に心からのお見舞いを申し上げたいと思います。

止むことのない円高の中で企業活動に大きな英知とご努力を重ね生産をつくる活動をくり広げていただいた進出企業の皆さんに敬意と感謝を申し上げたいと思います。

老若男女泉崎村に生を営む村民の皆さまは泉崎の誇りを絶やすことなく意気さかんな前進と人々の交わりの中に豊かさとうるおいのある村づくりに参加していただきました。感謝あるのみでございます。

泉崎の抱負と任務

いま泉崎村にはほとんど毎日〈〈日本全国から「村づくり日本一」を掲げる村を学ぼうとして視察団見学者が訪れております。これは村民の力そのものというべきだと信じております。

私たちの村は平地にそびえる烏峠の自然があります。これは他に誇れる天からの贈りものであります。そして山の歴史が山と村民の心や体のかかわりがそれ自体泉崎の生命力であるように思います。泉崎村の躍進は烏峠の雄姿が放つ威容に似て不動の勢いを示してくれているところであります。

まんさくの花が咲き春のさきがけをつくり、やがて桜のつぼみが咲き誇り花ふぶきが舞い、やがて、若葉が目にまぶしい春たけなわをつくってくれます。

烏峠の自然が泉崎の自然を代表し私たちの心に与える生きることへの励ましを泉崎の子や孫たちに残してやらなければならないと考えます。

泉崎村はいまダイナミックにいろいろなところで開発が進んでおります。それは発展を約束する動きでありますが、このことは古い緑が新しい緑に変わる村の姿の移りゆく一つのプロセスととらえなければなりません。生産を生む新しい大地をつくる努力と同じ努力が緑をつくるために払われていかなければならないと思っています。

これこそがまさに関発と自然の調和する命であり、つくられる泉崎村の生命力であると信じます。

二十一世紀の世界をのぞむ泉崎の課題

日本の国はいま目ざましい発展を見つつあります。わが国の経済はすでにご承知のように全世界GNPの一割を占めるに至りました。つまり世界経済の一割国家であります。日本の経済にゆがみが生じたら世界経済にゆがみが生じる影響力をもつといわれています。それはすばらしいことであります。

しかしこのことは円高、貿易不均衡、黒字問題など

(サンドラさんの授業は好評……二小にて)

年頭所感

（豊かなふるさといずみざき烏峠山頂より……）

多くの問題を引き起しております。

現在の科学技術の発達を考えると日本の経済はこれからも伸び続けると見ることができます。もちろんこの科学技術を伸ばしていって生産やひいては人類生存に貢献できることは深いよろこびであります。

科学と経済とに於て世界をリードする日本はこうした力をどんな方向で何に生かすかが問われておりますこともご承知の通りであります。

泉崎の発展が国の発展、国の経済と大きくかかわっていることを思うと世界と泉崎のかかわりは国際化、国際交流の視野に立つまでもなく至極当然であります。

国内問題だけでなく国際社会への貢献そして世界福祉の創造のために日本の豊かさを生かすことでなければならないと思うし、泉崎村の産業のこれからの理想もこのことを忘れてはならないと思います。

他国の飢餓を顧みない姿勢は許すことはできないし他国の資本や企業を買いとってしまうだけの豊かさであってはならないと思います。

日本は国内での「人間らしい社会」の建設と「国際社会への貢献」ということを豊かさの代償としない限り世界からの孤立をまぬがれないと思います。

いま以上に他への貢献と自らの安定の工夫をはかっていくことが日本の繁栄を約束するものだと考えます。

そして未来と世界とのかかわりを望むかぎり、これは泉崎村の問題としてとらえなければならないと思うのであります。

泉崎村の活力をつくる

「活力」、その源はしっかりした地域経済をつくること、つまり村の経済を確立することであります。

世界のからみの中で考えると日本農業は日に日に斜陽化が迫っております。さきにジュネーブで行なわれたガットの勧告、トロントでのサミット、東京の佐藤ヤイター会談、この暮に行なわれたウルグアイランドの中間レビューの閣僚会議などから遠からず農産物のほとんどに国境措置がなくなることが予想されます。とくにモントリオールでのわが国の主張としてのコメの基本食糧安定保障の考え方に対してはECとアメリカの農産物問題の対立関係もあって先おくりされたがいずれコメのあけ渡しさえ迫られる状勢にあります。

いずれわが国農業は疎放農業と集約農業、ローコストとハイコストの丸腰の対決の時代に追い込まれることになったわけであります。

これを泉崎村にひき直してみると村の農業所得は年当り十三％方のマイナス成長であります。

二十一世紀をのぞむ村の農業のあり方に大きな転換が求められる時代に入ったと云わなければなりません。

農業を産業として捉え近代化と再編に向けて手段を構じていかなければ自立の農業を考えることはできないことを意味するものであります。

生産性を考える限り経営をコスト意識に徹底した追求を行なって対外競争力をつけていく以外にないと思うのであります。思い切った規模拡大、協業化、大農機械力の導入と問題は多いがこれが実現できれば立派に世界に通用する農業が確立できると信じます。

（企業誘致は順調……起工式）

泉崎村に七～八ヘクタール農業が生れ粗収入三〇〇〇万円、所得一、六〇〇万円の農家群をこれからの目あてにしなければならないと考えております。

泉崎の青年に望む

未来に心を向けるのは青年の特権である。かりに試行に時間をかけることがあったとしても未来に雄断をもってチャレンジし積極的にとり組む気持ちを起していただきたいと思います。

泉崎村はいま興農大学を開設しています。将来に向ける農業経営の中堅農家を考

年頭所感

えたいからであります。

四十一名の受講生を二年一期とし二十一世紀型農業者の育成を試み強い農業を築きたいと願っております。

東北大学、北海道大学、福島大学及び実業界その他のエキスパートを講師に迎え内外の状勢、未来の農業新しい経営学、バイオとテクノ、市場対応の知識、世界と日本など広く各界の知識を習得し新しい農業の実践を期待するからであります。

（日本一の村づくりに視察団ラッシュ）

わが村の青年たちが自分のデザインで農業を考え実行してもらわなければなりません。

私よりははるかに長い二十一世紀の未来をもつ青年の皆さんに泉崎村のこれからの農業を創造し、未来に生きる農業への自己主張をもっともっと盛んにしてほしいと思います。青年にはエラーする特権があると同時に夢見る権利もあるはずであります。

いつも年頭に思うことですが私も精一杯の努力を傾け若い諸君に受けついでもらえるものをつくりたいと思っております。

みなさんの前途にどんな悩みや苦痛があろうと若者らしくひるまず進んで欲しいと考えます。悩みは成功への拍車であり希望は飛躍への動力であります。

ますます学び理想を燃やしてがんばってくれるよう望みたいと思っています。

泉崎村の飛躍の姿

すでにご協力をいただいてニュータウンをつくり入居が進み人口六、二四六人（S63・12・1現在）になりました。人口を伸ばすことは活性をつくる要素の一つです。過疎をくい止め増加への方向をつくることは困難なことでありますが泉崎は見事にこれをなし遂げなお伸びつつあることは村民の皆さんとともに喜びとするところであります。人口が伸び貨客の往来がさかんになり消費が伸びることは流通をさかんにし村の経済に大きな貢献をすることになります。また増加住民の所得の伸びは村の経済指数を高めることになりよい循環をもたらします。

村の産業にマイナス経済の産業があるとすれば全体としてプラスの面を大きくしていかなければなりません。いま泉崎村は企業導入に政策の主力を入れております。これは生産性の面から見て村民の所得を伸ばし経済をつくり上げるために必要があるからでありましてムードだからといった次元のものでは勿論なく二十一世紀に向けた泉崎の強い産業構造を総合的につくり上げる必要があるからであります。誘致企画の実数はこの暮に調印した六社を含め四十社になります。

二次産業の生産性は何といっても一次産業のそれを大きく凌駕し現在および将来の泉崎の経済に大きな貢献を果し得るものと考えております。

泉崎村はいま福島県屈指の経済成長を遂げております。経済成長率前年比二八・三％（県同四・六％）と農業所得ダウンの中で村全体の伸びは見事なものがあり県下第二位にのし上り二次産業の伸びは七五・二％と断突県下第一位であります。

泉崎村が長期的に強い農業を築くためには農業再編と表裏の関係をもって工業をもっと強くし伸ばす必要があるという分析の結果であります。

今後、村全体の所得を高め一人当りの分配所得をもっと高め豊かさを実感できる経済をつくるためには二次産業をさらに充実させる必要があります。

工業団地など村民のご協力をいただいてこの勢いが進みつつあることは感謝であり喜びであります。昭和六十四年は一そう拍車をかける年にしたいと思っております。

村づくり六十四

泉崎村はいま建設に向けてその姿を変えつつあります。これはいま先んじなければ他に制せられることに

（低力のある農家経営のために……興農大学校開設）

年頭所感

なるからであります。

経済の力をつくる。集落の整備を進める。バランスある土地利用と開発。快適な環境をつくる。保健をつくる。教育をつくる。等々村づくりの課題は一杯であります。これらのことは泉崎村の二十一世紀につながる問題ばかりであります。

泉崎村を次の飛躍へ運ぶために昭和六十四年度の取り組みを進めたいと考えております。

●駅周辺の再開発

今後村の産業を高め貨客集散の中心地として駅前再開発整備を進めることは緊急の課題であります。ことしは農業集落整備と関連し泉崎駅東口の整備（三十㌶）事業を着手し区画と河川公園の整備などアメニティづくりを進めたいと考えております。

●国際リゾート

烏峠東面裾野一帯二〇〇㌶の利用を近代的将来的につなぎこの地区の発展と泉崎村活性化に役立てようとする発想でユニークな開発を進めたいと計画しております。国際的に往来の激しい時代を迎えております。単なるリゾート開発ではなくコンベンション産業的構想で特殊な内容をもったアメリカンヒストリーパーク（アメリカ歴史村（仮称））の建設を計画していきたい。アメリカに行く留学生及び社用派遣の会社員やその家族などの渡来準備の教育、またアメリカからの来訪者への日本教育と案内など短期滞米経験をこの泉崎で行ない同時にアメリカ歴史館的施設をつくり国内修学旅行のうけいれ、アメリカからの旅行者のアメリカ見学をこの泉崎でできるような滞在型一大スタディパークを建設する。その第一年にしたいと考えております。

●中核工業団地の着手

村の工業への構想はすでに述べたところでありますがこれをさらに徹底して推進するため、かねてより計画しておりました礼堂地区四号線と入中の中崎地区東北本線の間一七七㌶の中核工業団地の造成事業の第一年にしたい考えであります。

●踏瀬奥の開発

インターに近くいろいろな面にわたって開発が期待される踏瀬地区に開発を見た池の入山工業団地、さらにいま進めつつある国営農地開発に加え、村の従来の構想で比較的具体的時期を捉えにくかった関係で若干ずれこんだが踏瀬地区の発展を考慮し、またインターに近い空間スペースとして羽前場山地区一帯二〇〇㌶にゴルフ場にホテルを併用したリゾートの建設をはかる計画であります。

●教育施設の充実

さきに本村は東北に誇る中学校を建設したところであり生徒及関係者に大変喜ばれています。

ことしからの課題としてニュータウン建設に伴う児童数の増加に併せ第二小学校の老朽化などしばしばの報告陳情等に応えるためにも施設充実と環境一新をはかりたいと考えております。第二小学校の増改築計画といたしまして第一期工事として増改築を計画し第二期事業として改築を目論んでおります。このため現校舎裏側一二、〇〇〇㎡の売収を始め具体的取り組みを実現していきたい考えであります。

●アメニティとヘルスパイオニア

しばしば「広報いずみざき」を通してアメニティー泉崎の構想ヘルスパイオニアタウン事業の構想等につきましてはお伝えしたところであります。村民が豊かな経済と豊かな心で生きられることは、行政の究極の目標であります。

さらに人間らしく生きるためには誇れる自然を維持しまた生活空間をきれいにする工夫をこらしながら整った美景の中でまた整った衛生環境の中で生活できることが地域社会の「福祉の国パラダイス」を造る最終の望みであります。

駅前再開発が急がれてい

（3,000人の笑顔……村民体育大会）

（健康づくりの村宣言……健康マラソン）

年頭所感

（ヨシ！今年もガンバルゾ……Vサイン）

るところでありますが、ことし駅前東地区の整備と河川と水と緑の公園化を構想してアメニティー事業から手がけたいと思っております。

体をつくり命をつくり運動をつくって最終的には健康な暮しを築いていく。これがこれからの保健の任務であります。このしごとにチャレンジするのがヘルスパイオニアタウン事業であります。

豊かな緑、さわやかな空、清らかな水そしてのびのびと歩ける公園や広場など私たちの郷土を美しさと清潔さと心身の健康に満ちた生活がくり広げられていく大いなる舞台、それが泉崎であると夢みなければなりません。このとり組みを進めていく力づよい六十四年にしたいと考えております。

以上六十四年のとりくみの各事業について表明させていただきましたが、しかしこうした仕事への挑戦は永遠の課題でありみんなの課題であります。したがって未来への挑戦として意識し力を合わせてトライすることがだいじであります。

村民みなさんの限りないご協力をお願いするものであります。

おわりに

村づくりの大前提はいままでそうだったように村民の和と協力がだいじであり子や孫の未来を奪うものであってはなりません。「福祉の国泉崎」をめざして泉崎にふさわしい産業や所得そして残された文化遺産をだいじにし、また新しい文化を創造して後世に残していきたいものであります。

私はさきに述べた「村づくりプラン」を今年の重要な課題にすえていきたいと考えます。

私はいつも思うのですが家庭をつくるとき、集落をつくるとき、村をつくるとき「希望」を語ることが大切であります。希望があるからこそ苦労にも耐えられるのです。希望を語ることを止めたときすべて役割は失なわれてしまいます。泉崎村は価値感の多彩な人々の集団になりつつあります。むしろこれこそが開かれた時代開かれた地域そして開かれた村の姿であります。

こうした中にこそ村のアイデンティティーをつくる喜びを知らなければなりません。豊かさをつくることは大切でありますがこれからは豊かさの量とともに生活の質をも高める時代を望まなければならないと思います。家庭で地域で職場でそして村の政治をも含めて質の高いものをつくるのです。

そうです。泉崎村は高い質の豊かさを夢見つつ私たちの春の喜びをつくろうとしているのです。「枕草子」に『春はあけぼの』というくだりがあります。私は、これからの泉崎のことばだと思っています。みんなで努力して春をつくれば必ず次の時代のあけぼのを見ることができます。

烏峠の頂きから次のあけぼのを望むことのできる若者の心にしてほしいと思っております。この意味でことしの新春はすばらしい「泉崎の春」にしたいと考えます。昭和六十四年も福祉の心がゆきわたり文化の香り高い、そして日本中に向って開かれた魅力ある村を築いていこうではありませんか。

今後のご協力をお願いし皆様のご多幸を祈って年頭所感といたします。　以上

昭和六十四年元旦

ホットライン

▶ 12/3 **青年教育ダンスパーティ**
村内・外から100人の若人が参加して、若さがあふれ夢あふれ
（環境改善センター）

◀ 12/11 **世代間交流（ゆずりは学級）で「たこ作り」**
おじいちゃんから孫へ「たこ作り」伝承、ほのぼのふれあい楽しい一日でした。
（中央公民館）

謹賀新年

今年は巳年

今年は巳年、すなわち蛇年です。

蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拝と畏敬の対象でもありました。

蛇は、生きている間ずっと成長し続けます。発育にともなって、古い皮は三カ月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しいのと取り換えられる――脱皮です。

今、泉崎村は脱皮に脱皮をかさね、休むことなく伸び続けています。今年も、更に飛躍、発展の年となりますように、年頭にあたり各役職にあってご活躍いただいている皆さまに新年のごあいさつをいただきました。

村議会議長
菊地喜一

年頭に当り、御祝辞を申し上げます。

昨年は中学校屋体の完成、大規模工業団地の造成と企業誘致、快適環境をつくる集落排水事業、カントリーパーク事業、村民の健康づくり事業等をはじめ、全ての事業に大きな成果が見られ、村議会といたしましても御同慶に堪えません。

又、反面、夏の長雨に伴う冷害による農作物の被害や水田再編対策事業の取組み、農畜産物価格の低迷と農業を取りまく情勢には憂慮に堪えません。

さて、本年における泉崎村は沢山の事業を抱え、今まさに躍進の最中にあり、議員一同、村政運営に協力し合い、尚一層の発展のため努力する所存であります。

村民の皆様の益々の御多幸をお祈り申し上げます。

名誉村民
渡辺酉蔵

年頭に際して、本年も泉崎村が海上村長の卓越した指導力のもとで、更なる発展の年でありますよう、祈念してやみません。

都市機能をもった泉崎村が、快適環境整備計画を立案して、二十一世紀の村づくりに邁進する姿は何よりも頼もしく嬉しい限りです。

私が理事長をしている特別養護老人ホーム・ケアハウス泉崎は、順調な推移をしておりますが、多くの村民の方々やボランティアや慰問を頂き、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

又、中銀ゴルフコースも三年目を迎え、入場者も増えてまいりました。入場者が負担する税は、泉崎村に還元され、日本一の村づくりに多少なりとも役立っているものと嬉しく存じています。

泉崎村の発展と村民の一層のご健康をお祈り致します。

助役
中野目辰善

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。ご家族おそろいで恙く新春を迎えられたことと存じます。

昭和六十四年は泉崎村にとりましては、また建設の年となります。今年は二十一世紀に至る残る十年の行方を決するだいじな年であります。村長を先頭に新しい世紀に向ける村づくりを村民の皆様と共に推し進めていきたいと存じます。

村の人口も生産も計画に従った向上を見せておりますことは喜びに耐えません。

産業所得の政策推進など困難ではあるが価値の高い村づくりが進んでおります。

全国注視の中でする力強い村づくりを例年以上に村長を補佐し成果ある年にするようがんばっていくことをお誓いし年頭のごあいさつといたします。

ホットライン

◀ (11/28) **幼稚園幼年消防クラブ 防火パレード**

チビッ子消防隊がリリシク鼓笛演奏し防火を呼びかけました（役場前で）

▶ (12/1) **病院で避難訓練**

いざをいう時に備えて真剣に訓練しました。

収入役
佐々木一恵

年頭にあたり皆様方の御健勝をおよろこび申し上げます。

昨年は、天候不順により水稲を始めとした農作物の被害が甚大で大変な年でありました。今年はぜひ天候に恵まれる年であってほしいと思います。泉崎村は今日本一の村を目ざして村づくりが行われております。教育充実のための中学校の移転も完了し環境の整備も立派に整いました。体育施設も年々整備され村民の健康づくりに一層寄与される事と思います。又、誘致企業も約三十社にのぼる立地も決まり観光農園も村の構想実現に向って前進、まさに日本一の村づくりが進行中であります。今年も村長中心に村民の皆様の期待にこたえるべく頑張りたいと思います。

教育委員長
箭内正次

輝かしい一九八九年の新春を迎え、心からのお慶びを申し上げます。今日、二十一世紀にむけての人づくりは重要な課題でありまして、当村でもこれらの事を着実に進めてまいりましたが、いよ〳〵国際化の進む二十一世紀も後十余年となりました。次代をになう青少年はもとより、各世代の人々が生がいをもって過せるような、条件の整備を増々強く感じている次第です。学校教育では、新教育課程の移項が始まり、又社会教育、スポーツ、文化の面でもいっそうの発展が期待される今年は、希望に満ちた年であります様よう望んでいる次第です。

教育長
木野内重三郎

年が改まることは、私などには大変ありがたいと思っております。過年の不本意なことに抱泥することから解放され、その反省に裏打ちされた発意が促がされ、堕し易いマンネリ化への戒めとする節目となるからであります。

世は生涯学習時代を迎えました。幼小中の教育もその一課程に過ぎません。しかし、生涯学習の基礎となる幼小中教育の重要さは、増大するばかりであります。従ってその行政需要も逐年多大となり、私どもの重責を痛感させられております。今年も堕性を戒め、村民の負託にこたえる決意を新たにしているところですので、力強いご支援を、お願い申し上げます。

泉崎一小校長
橋間　博

昨年も又、皆様方から何かと御援助、御協力を賜りまして誠に有難うございました。

おかげさまで子ども達は存分に力を発揮することができ、大きな成果をあげることができました。今年も又、子ども・保護者・教職員共々大きな目標に向って全力を尽くして邁進する意気込みでおりますので昨年以上の御援助、御協力を賜わりますよう、お願い申しあげます。

皆様方の益々の御多幸、御繁栄を心から祈念申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

ホットライン

▶ 11/29 **第6回村民駅伝大会**
寒風をきって10支部チームが力走。優勝は支部では宿舘チーム、企業は菱星電装㈱チーム。

◀ 11/29 **保育所でもちつき大会**
お父さん、お母さんと一緒にもちつき体験、おいしさ味う。

泉崎二小校長
村越英夫

一九八九年をこんな年に

絶え間なく過ぎ去る時の刻みに流されてしまうことなく、二百四十六名の児童と十五名の教職員が、それぞれの能力を出し合い英知を結集して内容の充実に努めてまいりたいと思います。それには先ず、一人一人の児童がよい子に育ってほしいと願わずにはいられません。よい子の姿として1、努力する子　2、奉仕する子　3、よく考える子　4、健康で素直な子、などあげられますが、そういう子どもを育てるよう頑張りたいと思います。

保護者の皆さん、そして地域の皆さん、どうぞ本年もよろしくご協力くださいますようお願い申上げます。

〝築くわれらの泉崎
二小に明日の陽が躍る〟

泉崎中学校長
佐藤雄喜

つつしんで新春のお慶びを申し上げます。

昨年をふりかえってみるに、東北一を誇る屋内運動場の落成をみたことは、世紀の事業と思われます。

これも村長さんをはじめ各関係機関、PTAの皆様方の御尽力と御力添えの賜ものであり、ここに心から厚く御礼申し上げます。

恵まれた環境を生かし「人間のもつ可能性の開発をめざす教育」を研究主題にソニー教育資金論文に応募したところ、優良校に入選し、八ミリビデオ・カラーテレビ機器等一式を受賞いたしました。今後も生徒個々の可能性の開発をめざし初心にかえり、学校経営にあたっていく所存でございますので、なお一層の御支援をお願い申しあげます。

泉崎村消防団長
鈴木　寛

昨年は、自治体消防制度が発足して四十周年という節目の年でもあり、消防行事も多く、消防団員は本当に良く活動してくれたことに、心より感謝します。

本村においても、幸いに大きな火災、災害もなく、大過無く一年をすごすことができました。これも一重に皆様の予防消防の意識の高まりと思われます。しかし、災害・火災に油断は禁物です。

今後共、私達消防団員は、村民の生命、財産を守るため、更に努力してまいりますので、皆様のなお一層のご協力をお願いいたします。

村民の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

病院長
成沢俊雄

昨年は健康教育モデル事業の一環として糖尿病教室を実施し又ヘルスパイオニアタウン事業に参加し新ためて健康づくり運動の大切さを痛感いたしました。健康づくり運動はより人間らしく生きる、つまり人間生活と不離一体の運動であり本年は地域ぐるみの運動として輪を広げ又新しい時代の健康観は一病息災の時代で慢性的に若干の兆候があつても意欲を持って充実した生活を送ることができれば健康に生きるころができるように、健康を広くとらえ予防医療に取りくんでいきたいと思います。

年の初めに当たり皆様方の一層の御多幸をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

ホットライン

11/26 泉っ子まつり

〝一年間で一番楽しい日〟

トランペットのファンファーレ。聖火ランナー入場。

今年のテーマは〝泉っ子ミニオリンピック〟「友情と平和の輪を広げよう」

屋体いっぱいに、歓声があふれた一日でした。心をこめてつくった品物のならぶ出店・ゲームコーナー。計画・運営すべてが子ども達の手で行われた泉っ子祭。

選挙管理委員会長
選挙委員
溝井三男

新年を迎え、皆様の御健康と御多幸をお祈りいたします。

昨年は村長選挙、県知事選挙、参院補欠選挙が実施されました。村長選挙は無投票、知事選・参院補選では投票率が八九・九八％と県下でも高成績を上げることができました。

今年も七月に参議院の通常選挙が施行されます。国政選挙となると一般的に選挙の関心がうすくなり投票率も低下してしまいますが幸い泉崎村には明るい選挙推進協議会と白ばら会が結成されており常時明るい選挙の推進を啓発しております。特に棄権防止のため広報車の巡回、チラシの配布、各事業所訪問等を今年も続けてまいりますので皆様の御協力をお願い申し上げます。

交通安全協会長
箭内知道

昨年中は、交通安全にご協力いただき誠にありがとうございました。しかしながら、昨年は我白河管内における発生件数が五百件を越え、死亡者も十四名でありました。本村におきましても件数、負傷者は大幅に増加してしまいました。ちょっとした気のゆるみで事故を引き起こしているのです。その中でも飲酒運転は悪質極まるものです。過去からの統計を見ましても速度超過、前方不注意に次ぎ三番目という死者数です。

ゆとりある運転の中にも気を引き締めた運転を心がけましょう。今年は我々交通安全協会も、より一層の努力を尽くす所存であります。

老人クラブ連合会長会
穂積政治

「何んなく、今年はよい事あるごとし」と石川啄木がうたったように新しい年を迎える度に希望に満ちた輝しいよい年になることを誰もが願っていることでしょう。

私達年寄りは村内の各階層の方々から「明治、大正、昭和と再び経験することのない時代の変遷、激動の時期を生き抜いてこられたのですから益々元気で頑張って下さい。」と励まされております。これらに答える為にも健康づくりと、だれからでも尊敬され信頼され親しまれる年寄になる様にと皆なで心を一つにして勤めております。皆様方から老人会によせられている暖いご協力に対し衷心より厚く御礼申し上げます。

婦人団体連絡協議会長会
本柳タイ

新春を迎え皆様お健やかにお過しのことと思います。何もかも話題の多かった過ぎ去った年に比べていつも今年こそよい年でありますようにと祈りながら新年を迎えております。

さて、私たち婦人団体連絡協議会も皆様の協力によりのびゆく泉崎村の発展のために活動してまいりました。私はいつもお互い誘い合い、楽しみ合い、語り合い仲間づくりをしながら婦人が社会参加することによって婦人の地位が向上するのだと思います。今年もみんなで婦人団体の輪を大きく広げ、明るい家庭づくりを通して地域づくりのために仲良く進んでいきたいと思います。みなさん今年もよろしくお願い申し上げます。

ホットライン

11/27 さわやかママさんコーラス

―第13回みんなで歌おうコンサート―

県南地方のおかあさんコーラスの輪が結集され十五団体が参加。

本村からは、婦人学級音楽クラブ員十八名が、おそろいのロングスカートに身をまとい、赤のリボンを付け日頃の練習成果を披露しました。今年は、難しい三部合唱も試み、指揮者の本柳百合子先生や、ピアノ伴奏の中野目麗子先生の指導のもとに、みごとに歌いあげました。

自治青年会長
香野正大

昨年九月に行われました村民盆踊り大会には、村当局をはじめ、各方面の方々村民のみなさまの御協力をいただき大成功をおさめることができました。どうもありがとうございます。また、西白河地方開催の県青年体育大会も村民のみなさまの御協力、特に商工会のみなさまの援助により、盛会に終わることができました。

今年は、昨年の経験及び反省をふまえて、青年としての役割を果たし、泉崎村の活性化に少しでも貢献して行きたいと思います。

みなさまの御健康と御多幸をお祈りしまして、年頭のごあいさつとします。

総務課長
田崎文能

新年を迎え、皆様方には益々御清栄のことと御推察申上げます。

今年は、国の予算も六%程度の伸びを見込んでいるようです。ふるさと創生一億円という明るいニュースもあり、財政を担当する者としては大変嬉しい年となりそうです。しかしながら現実には地方行政はまだまだ厳しく行政改革の推進は余儀なくされることと思われます。又、これらを推進することによって地域の皆様方の生活の安定が築かれるものと信じております。今、本村は人口の伸びと共に行政ニーズも多様化し、国際化社会の波にも立たねばならないと思います。こうした中で我々は「何をなすべきか」と言うことを年頭におき地域の皆様とともに努力したいと思っております。

中央公民館長
円谷泰秋

新年を迎えて、皆さまが益々健康を増進されて村づくりに御協力下さるようお願いします。

今年はヘルスパイオニアタウン事業二年目になりますので地域住民の健康づくりに「歩け歩け運動」を奨めたいと思います。地域ごとに何人かのグループで毎日歩いて体力をつくる運動です。少し走るジョギングもよいでしょう。何人かの仲間で、毎日続けることが大切なことです。

次には「読書運動」を励めたいと考えています。一日三十分の読書、一月一冊の本を読むことは、心を豊かにする近道です。毎月巡回する「移動図書館おおぞら号」から本を借りて読むことをおすすめします。

健康を増進し教養を高めることが日本一の村づくりの基本であることを強調して年頭のあいさつとします。

幼稚園長
海上美津枝

年頭にあたり皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、幼稚園教育が一つの節目を迎え、現在六十五年全面実施に向けて教育要領の改訂作業が進められておりますが、この中で、「幼稚園教育の基本は、環境による教育である。」と明示しております。つまり、環境により子どもの活動を誘発し、子どもが意欲を持って自発的に関わることのできる環境の設定が最重要課題になると思います。まさに「環境が教育する。」と言えます。

この大改訂を機に、基本に基づく共通理解を十分に図り、子ども達の生活が、豊かで充実したものとなるように、鋭意努力して参りたいと思います。

ホットライン

AQ発表会

朝日ラバー

この度、㈱朝日ラバー福島工場では第十三回AQ会発表会を行ないました。

このAQ会とは、

一、企業の体質改善、発展のため

二、人間性を尊重し、生きがいのある明るい職場をつくるため

三、人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出すこと

以上三つの基本理念のもとに、各サークルで毎週話し合いが行なわれ、年二回の発表会が行なわれるということです。まさに企業努力ですネ。

企業努力!!

11/27 泉崎村友の会総会

去る11月27日㈰東京都港区「東京青山会館」において、第５回泉崎村友の会総会が開催されました。

ふるさとからは収入役・議長・副議長が上京し、出席された70名の会員の皆さんと終始和やかなふんいきで交流を深めました。

○今回は任期満了に伴う役員改選があり次の方々が新役員に決まりました。

・名誉会長　渡辺酉蔵
・会　　長　橋本　情
・副 会 長　須藤兼正
・　〃　　田崎光男
・　〃　　田中美左子

○会則の一部改正により、東京事務所が会長宅に設置されました。

橋本　情　東京都太田区南六郷１―12―７
☎03―733―0731

◇　◇

第27番目の誘致企業 ㈱酒井ステンレス 第一工業団地に着工

去る十一月十二日㈯第二十七番目の誘致企業、㈱酒井ステンレス研磨工業所白河工場新築工事起工式が第一工業団地内で行なわれました。

当企業は、本社が東京都太田区にある資本金三五〇万円、従業員四〇名、年間売上二億四千万円のステンレス溶接、研磨、製缶メーカーの会社です。

泉崎工場は本年四月に操業される予定であり、地元採用を希望しています。

（起工式）

第28番目の誘致企業 自動車の車体メーカー 高田工業㈱ 第一工業団地に進出決定

今回、第一工業団地に進出する企業は、日産自動車の「Ｂｅ―１」などを手掛ける自動車の車体メーカー、高田工業（本社、神奈川県横浜市、高田勝也社長）です。当社は、資本金二億円、従業員七百七十人、横浜市内に二工場と九州工場を持ち、主要取引先は日産、いすゞ、三菱などの車体を生産し、年間売上高百九十億円です。計画によると泉崎工場は東日本の自動車車体と部品の拠点工場とし当面は自動車車体部品が主要品で従業員を地元採用し、本年七月に操業する予定です。

（調印式）

第29番目の誘致企業 岐阜プラスチック工業㈱ 第一工業団地に進出決定

第一工業団地に先に決まった、高田工業㈱隣に岐阜プラスチック工業㈱（本社・岐阜県岐阜市・大松利幸社長）が決りました。

この会社は資本金二億円従業員一二八〇人で合成樹脂成型品製造・販売・（食品関係の軽量包装容器、日用品産業用、農水産資材、工業用部品、土木資材等を主力に〝リスマークのプラスチック〟のブランド）で年間四百億円の売上げをしている会社です。

泉崎工場は同社の計画では大型成型品を中心に北関東地区における主要工場とし、従業員は地元採用し、本年十一月に操業する予定です。

（ニッコリ、握手）

表彰

福島県スポーツ少年団功労者賞受賞

十二月一日(木)、福島市杉妻会館において、中野目末市泉崎村スポーツ少年団本部長が、長年にわたりスポーツ少年団の発展、振興に尽してこられたことが認められ、福島県スポーツ少年団本部長より、福島県スポーツ少年団功労賞を受賞されました。

(表彰状を受ける中野目末市氏)

泉崎村スポーツ少年団
本部長
中野目末市

今回スポーツ少年団功労者として受賞の栄に浴し身に余る光栄と感激しております。これ偏に歴代の役員、指導者、学校関係者、並に村長をはじめとする当局のなみなみならぬ御支援・御協力の賜と深く感謝を申し上げます。

私はこの受賞を飛躍台として心身共にバランスのとれた、たくましく健全な少年の育成に全力をそそぐ所存でございます。

日本一の村づくり・人づくりを目指して優れた伝統と歴史のあるスポーツ少年団を築き上げるべく尚一層頑張りたいと思いますので皆々様の御指導御鞭撻の程心からお願い申し上げましてお礼のことばと致します。

表彰

優良青色申告者菊地呉服店さん

去る十一月十六日(水)、白河税務署において、昭和六十三年度優良青色申告者として菊地呉服店に表敬状が贈呈されました。これは近年における所得税の申告が申告納税制度の主旨に即した誠実なものと認められ、高く評価されたものです。

(おめでとうございます菊地さん)

菊地改準さんは、現在泉崎村青色申告会会長も勤めており今後、この表彰を機にさらに青申会活動に力を注ぎたいとしています。

国公立幼稚園長会で海上園長発表

去る十一月一日(火)、二日(水)の両日、双葉郡楢葉町において、第十七回福島県国公立幼稚園長会研究大会が開催されました。当研究会は幼稚園教育における種々な問題について研究協議し、その解決策を論じ、もって幼稚園教育の振興・充実・発展をはかろうとするものです。

(発表する海上園長)

本年の当研究会では、わが村、泉崎幼稚園の海上園長が、豊かな人間性の育成をめざす幼稚園教育の創造という主題のもとに、「絵本にかかわる経験や活動を通した保育――豊かな心を育てる為……」と題し問題提起しました。日頃から実際に保育の現場にたち、幼児教育に真剣にとりくんでいる海上園長の発表は参会者から高く評価され、本村幼稚園は他の幼稚園教育のモデルケースとなり得るものと思われます。

野外映画大会

「イタズ」感想文表彰

去る九月十七日(土)夜、さつき公園で開催された第一回チャリティー映画会(主催・二十一世紀の泉崎を考える会)では名作「イタズ」が放映され大好評でした。二十一世紀の泉崎を考える会では、この映画会の感想文を募集したところ、泉崎一小・二小から合わせて四十八人の応募がありました。円谷泰秋公民館長らが厳正審査して最優秀賞、優秀賞、佳作賞に次の子供達が入賞し、表彰されました。

表彰式は、去る十一月二十六日(土)、レストハウスいずみざきで、同映画会の反省会をかねて行なわれました。同会では、この映画会をより実りあるものとし、継続していきたいとしています。

入賞者

最優秀賞
小林健太郎(泉崎一小・六年)
小林　弘実(泉崎二小・三年)

国保の窓

私たちの日常食べている食品は数百種もあり、これらの食品の栄養素をいちいち考えて食品を組み合わせるわけにはいきません。

そこで食品の成分的特徴をもとにして、日常食品を6群に分け、その6群の食品を組み合わせて食べると、栄養素の一つ一つを考えなくても栄養のバランスがとれるよう考えたものが六つの基礎食品分類法です。

毎日、六つの基礎食品を組み合わせて1日に20～30種類、1週間で60種類の食品を食卓に。

6つの基礎食品

1群　肉・魚、卵、豆・大豆製品
血や筋肉をつくる
魚類、肉類、卵類。大豆、納豆、豆腐など。

2群　乳類、海草、小魚
骨や歯をつくる
牛乳、チーズ、ヨーグルト、めざし、しらすぼし、わかめ、ひじきなど。

3群　緑黄色野菜
皮膚や粘膜の保護
にんじん、ほうれん草、春菊、小松菜、かぼちゃなど。

4群　その他の野菜、果物
体の調子を整える
だいこん、はくさい、キャベツ、きゅうり、トマト、みかん、いちごなど。

5群　穀類、いも、砂糖
糖質性のエネルギー源
ごはん、パン、うどん、そば、スパゲッティ、さつまいも、じゃがいも、さといもなど。

6群　油脂
脂肪性のエネルギー源
てんぷら油、サラダ油、ラード、バター、マーガリン、マヨネーズ、ドレッシングなど。

書き初め展

書き初めの題も〝健康〟

わが村がヘルスパイオニアタウンに指定されたので村民総ぐるみで健康づくりに励むよう書き初めも次のような題で子ども達が筆をふるいます。

書初展は一月十四日から十六日まで中央公民館で開かれますのでみんなで見にきてください。

■六十四年書初め課題

小学校
一年　からだ
二年　けんこう
三年　つよい子
四年　元気な子
五年　明るい心
六年　健康な体

中学校
一年　心身の健康　楷
二年　健康で明朗　行
三年　健全な精神　行

※用紙は県指定のもの又は同大のもの、手本は習字担当の先生にお願いする。

シリーズ　私の健康法⑪

規則正しく、食事はきちんと―腹八分

字八雲神社　矢部　久（61才）

私は何年か前に人間ドックに入った際、糖がでているといわれたことがあります。日本酒のせいだといわれそれからはウィスキーに変え、今では異常がないようです。そこで健康に過ごすには私なりに誰でも出来る、規則正しく、食事はきちんと腹八分、物事にこだわらない、適度な趣味に身体を動かす、これを心がけております。

先づ朝は六時に起きます。たとえ前の日に宴会でおそくなってもです。そしてテレビ体操、それが終ると外に出て植木を眺めたりその辺を掃いたり三十分程外に出ています。この朝の空気が又健康に良いと思います。思いっきり胸いっぱい吸って朝御飯、朝からおいしく戴けます。塩分控え目、何んでも好き嫌いなく食べる事にし便通もきちんとします。趣味は山歩き、春は山菜、秋はキノコ…たとえ取れなくとも気分爽快です。下手なテニスにも興じ汗を流しています。二三年遠ざかっていたスキーも始めようかと思っています。

入浴後には足踏みを二、三百回します。晩酌は明日へのエネルギー源として二合程度。なるべく早寝早起きを心がけています。

おかげ様で今では病気らしい病気はしていません。このペースで今後も続けて行こうと思います。

糖尿病教室

病院では健康教育モデル事業の一環として毎月一回糖尿病教室を開催しています。現在受講生は四十七名で、糖尿病で悩んでいる人又その家族の方々です。

現在糖尿病の患者は全国で二百万人以上といわれています。糖尿病と聞くと、甘党の人がかかりやすいとか逆に酒飲みは危険信号だとか、ばく然としたイメージだけでとらえていることが多いようですが、がん・心臓病・脳卒中に次ぐ第四の成人病となっています。日本の糖尿病患者増は自動車の登録台数の増加と相関しているそうです。

（熱心に講義する成沢先生）

こわいのは合併症で、全身に及びます。特に網膜症で失明する患者が増えています。次に腎臓又脳梗塞、心筋梗塞を起こしやすくなります。まず自分が糖尿病であるかどうか尿・血液検査を受けてたしかめ糖尿病とわかったら糖尿病教室で正しい糖尿病の知識を身につけて下さい。糖尿病というのは養生さえすればいくらでも良くなります。受講希望の方は村立病院にお問い合せください。

☎(53)2415泉崎村立病院

三村合同文芸のつどい

―ことしは泉崎が当番―

東村・中島村・泉崎村三村の文芸愛好者が一同に会して、俳句・川柳・短歌などの文芸について研修する「つどい」が来る一月二十一日(土)、老人福祉センターで開かれます。

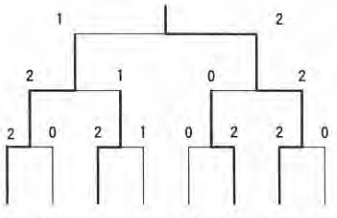
誰でも参加できますので次の要領で作品を募集します。一人でも多くの人の参加を願って止みません。

記

一、川柳　一句・題「飾」
　俳句　一句・冬雑詠
　短歌　一首・自由雑詠
二、締切　一月十四日限
三、送り先　中央公民館
四、会費　千円・当日納入
五、講師　川柳―松山富夫氏、俳句―森川光郎氏、短歌―円谷泰秋氏

第4回 家庭バレーボール協会長杯大会

寒さをものともせず、全試合に盛りあがりを見せました。特に、宿舎と高根の決勝戦は見ている人をも熱くするほどの熱戦でした。



今月の行事

―中央公民館―

1日㊐～3日㊋　休館
4日㊌　御用始め
6日㊎　ゆずりは学級、公文教室（毎週）
7日㊏　子ども囲碁、将棋教室
8日㊐　子ども囲碁、将棋教室
9日㊊　ヨーガ教室
11日㊌　子ども文庫、俳句教室
12日㊍　青年教室、民謡教室（毎週）
14日㊏～16日㊐　書初め展
15日㊐　新年囲碁大会
16日㊊　子ども囲碁、将棋教室
17日㊋　英会話中級講座、婦人学級（生花）
18日㊌　子ども文庫
19日㊍　青年教室
20日㊎　英会話中級講座（毎週）
21日㊏　三村文芸のつどい
22日㊐　子ども囲碁、将棋教室
23日㊊　働く親の学級
24日㊋　英会話初級講座（毎週）、婦人学級（手芸）
25日㊌　子ども文庫、ワープロ講座
26日㊍　青年教室、歯科相談
27日㊎　高砂学級、英会話中級講座
28日㊏　囲碁クラブ例会
29日㊐　子ども囲碁、将棋教室
31日㊋　英会話初級講座、2カ月児健康診断

―保育所―

4日㊌　御用始め、安全点検日
6日㊎　平常保育開始
12日㊍・26日㊍　おべんとうの日
18日㊌　新年子ども会、誕生会
20日㊎　職員会議
23日㊊　おそうじの日
25日㊌　ひなん訓練
28日㊏～31日㊋　身体測定日

―幼稚園―

17日㊋　第三学期始業式
18日㊌～20日㊎　身体測定
20日㊎・27日㊎　サンドラ先生と遊ぼう
26日㊍　避難訓練
28日㊎　園内美化の日
31日㊋　誕生会

―泉崎一小―

9日㊊　第三学期始業式
11日㊌　身体測定　低学年
12日㊍　身体測定　中学年
13日㊎　身体測定　高学年
19日㊍　委員会活動
23日㊊　交流教室（1年）
25日㊌～26日㊍　宿泊訓練（5・6年）
30日㊊　集会活動（勤労生産）、交流教室（2年）

―泉崎二小―

9日㊊　第三学期始業式、方部子ども会
10日㊋　身体測定
11日㊌～12日㊍　宿泊訓練（5・6年）

―中学校―

9日㊊　第三学期始業式

サンドラさんのメッセージ

To the citizens of Izumizaki village·
I would like to take this opportunity to express my hearfelt gratitude for the kindness and hospitality I have reccived from you all· Icovld her share my first white Christmas with a nicer group, and I wish you all the best in the coming year.

おいわい おめでた おくやみ

■結婚おめでとうございます。

	住所
新郎・新婦	踏瀬字町頭七番地
星　雅之	
恵美子	
佐川　榮	関和久字庭渡神社十一番地
敦子	
大森　正一	太田川字小林三番地口号
真里	

■出産おめでとうございます。

お子様名	父母名
泉崎字舘百十五番地	
大野　静	喜平・薫
泉崎字下宿五十二の一番地	
小室由希子	俊一・美智子
関和久字上町百九番地	
熊田　瑞季	成美・美千代
北平山字新田三十八番地	
小針　英寿	正一・弘子
泉崎字寄井十三番地	
藤田　一樹	久志・光世
泉崎字鶴番小屋二十四―三	
草野　芳江	拓・ヒサ子
太田川字原山一番地	
溝井　亜弓	正弘・栄子
踏瀬字長峯七十九番地	
廣橋　隆太	隆二・美子

■謹しんでお悔み申し上げます。

北平山字山寺七十一番地	
穂積　金吾	八十五才
関和久字下町百三十三番地	
佐川　貴雄	八十五才
踏瀬字踏瀬七十番地	
穂積千代乃	七十五才
関和久字瀬知房十二番地	
鈴木マツヱ	八十一才
泉崎字川畑九番地の一	
中畑　清	七十八才